

## 秋田わか杉国体県民総参加運動盛り上げ推進事業



協力していただいた皆さんと植栽したペゴニア

6月22日、角館地区の500歳野球チームのメンバーや仙北市地域婦人連絡協議会角館地区の皆さん約30人の協力をいただき、仙北市落合運動公園で、「ようこそ仙北市へ」などのステッカーが貼られたプランターに培養土を入れ、花を植栽しました。

これは、9月から10月にかけて開催される秋田わか杉国体に向け、秋田わか杉国体県民総参加運動盛り上げ推進事業の一環として行われました。

当日は、国体推奨花であるペゴニア・セパフローレンスの赤やピンク、白の3色、全部で840株を210個のプランターに植栽しました。植栽したプランターは、角館駅前、駅通り商店会の皆さんの協力で、そちらに設置し、訪れる皆さんを歓迎しています。

## にしきのフラワーロード105一斉植栽

7月1日、にしきのフラワーロード105一斉植栽が行われました。地域の皆さんをはじめ約500人のボランティアが参加し、丁寧に植栽しました。

このフラワーロード105一斉植栽は、毎年行われているもので、国道105号の利用者を和ませています。

当日は、強い日差しが照りつける中での作業となりましたが、西木町堂村から西荒井までの9.2kmの国道両側の花壇に、オレンジや黄色のマリーゴールドの苗5万本を植栽しました。ご協力いただいたみなさんに感謝し、お礼申し上げます。



マリーゴールドを1本1本丁寧に植栽する皆さん

## 森林交流作業体験

6月23日、西木町上桧木内字堀内地内で「森林作業体験会」が開催されました。角館、田沢湖、西木3地区のふるさと会委員や首都圏森林ボランティア70人と地元住民合わせて約150人が参加し樹齢25年生の杉林の間伐、枝打、下刈り等山の手入れをしました。



昼食は、地元の食材を使用したおかずとおにぎり。夜は地元のお母さんたちの手作り料理に舌鼓、地元児童による郷土芸能も披露。

参加者は、熱心に森づくりの話に花を咲かせていました。



## グラウンドゴルフ大会で 秋田内陸縦貫鉄道の乗車促進に

西木グラウンドゴルフ協会(大牧徳二郎会長)では、秋田内陸縦貫鉄道の乗車促進運動を実施しています。

その一環として、7月15日、上桧木内の戸沢駅近くにある、よしの丘グラウンドゴルフ場を会場に、グラウンドゴルフ大会を開催しました。

当日は、西木地区の会員59人が参加し、4コース32ホールでプレーを楽しんだほか、秋田内陸縦貫鉄道が発売している土・日・祝日1日フリー乗車券の「ホリデーフリー切符」などを購入し、会場まで秋田内陸線を利用して乗車促進に貢献しました。



内陸線を利用しグラウンドゴルフを楽しむ会員